



生き方を育む学習事業（春風学級）について

生き方を育む学習事業（春風学級）とは、久下自治振興会教育人権部が中心になって行われている事業です。春風学級では、みんなの笑顔があふれる家庭・学校・地域を目指す人権学習の場として、次の3つの力をつけていくことをねらっています。

- 自分や地域の良さを知り、自分を伸ばしていく力
- 違いを認め、「人」の喜びや悲しみを共感できる力
- おかしいことはおかしいと感じ、正しいことに向かって行動しようとする力

この事業のテーマは、『誰もが大切にされる社会をめざして～自ら立ち上がってきた人々の生き方から学び、自分の生き方を見つめよう～』です。春風学級の教育的な効果は大きく、子ども同士のつながりを深めたり、地域の良さに気付いたりしていく中で、人権感覚を高めていくことができると考えています。

本校では、道徳を中心に総合的な学習の時間においても人権総合として、「部落差別をはじめとするあらゆる差別について正しく理解し、差別を許さない子、立ち上がった先人の願いを学び、自らの生き方について考え行動しようとする子」をめざして取り組んでいます。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の流行のための臨時休校があり、開始時期が9月の終わりとなりました。例年夏休みに、夏祭りを開催していましたが、今年度は中止となり、子どもたちも残念に思っています。しかしながら、6年生の全員参加で人権学習に取り組んでいきたいと考え呼びかけたところ、全員の参加の同意を得ました。実施曜日は、水曜日の15時から15時45分の時間帯で、月2回程度実施していきます。

みなさんに、広く知っていただきたい思いで、春風学級生や保護者の皆さんに発行している春風通信を全校に配布していきたいと思えます。目を通していただければ嬉しく思います。

春風学級がスタートしました！！

9月30日（水曜日）、久下自治振興会から 竹内安紀さん、足立繁信さん、岸本稚世さん、清水邦泰さんに来ていただき、本年度の春風学級がスタートしました。今年度の春風学級は、6年生全員に参加で、合わせて23名です。

会長の竹内安紀さんからは、「全世界には76億の人が暮らしている。同じ人はいない。違いを認めながら支え合って生きることの大切さ」、大木校長先生からは、「人権や差別に対して正しく勉強し、正しく理解することが大切。目で見て、耳で聞き、心で感じて自分も相手も大切にできる子になってほしい」、足立繁信さんからは、「人権のカラーを紹介していただき、人権の視点にはいろいろあることを教えていただいた。



ミーティングルームに集まって真剣に話を聞いたり、考えたりする姿から、「さあ、がんばるぞ！」という、気持ちが伝わってきました。

今年の人権学習のテーマは、

「誰もが大切にされる社会をめざして」

～全国水平社運動から氷上郡水平社運動に携わった人々の生き方から学び、

自分の生き方を見つめよう～ です。

今年度は、10回程度の開催となります。その学習の成果は、1月28日のオープンスクールで、発表を計画しています。ぜひ、ご参観いただき、子どもたちの発信を受け止めてください。

人権学習のスタートとして、今回は、「あっていいちがい・あってはいけないちがい」について、考えました。10の場面を提示して、○×をつけていきました。

- 兄弟で違うように言うのはおかしい。
- 車いすの人も一人で、電車に乗って旅行に行けたらうれしい。
- 先生によって態度を変えるのはおかしい。自分でもしてしまうことがあるし、クラスの中でもある。
- 好きな人と結婚できるといい。それぞれの思いが尊重できたらいい。
- 同じ仕事をしているのに給料が男女でちがうのはおかしい。
- 住んでいる町で就職できないのはおかしい。
- 高校に行きたい気持ちがあるかもしれないのに、家のあとを継がなければいけないのは、おかしい。学びたい思いがある人は、みんな平等に学校に行けたらいい。
- 呼び捨てにされたくないのに呼び捨てにするのはおかしい。
- 村によって、農業できる環境が違うのはおかしい。

などの意見が出ました。それぞれの場面で、しっかり判断して考えることができました。そして意見を交流する中で、友達の意見に納得して、自分の考えに取り入れる場面もありました。個人や家族によって違っていいという意見が出た時には、「もしも自分だったらどう？」と、たずねると、「自分だったらいいやだ。」と、考え直す場面もありました。

普段の生活の中で、当たり前だと思って過ごしていることも、視点を変えたり、他の人の考えを聞いたりすることで、「あれ？これっておかしい？」と、気づく心を育てていきたいと思えます。そして、それを正していこうとする行動力も、普段の学校での学習と併せて、この春風学級での学習を通して身につけていきたいです。